

- 1 定員、2 勤務状態
 - 以上二項に就き昨年度と今年度との比較調査を行ひ、定員減に依る従事員の勞働加重程度、事業縮少程度を調査した。
 - 四、各支部教育部活動調査
 - 五、全 事業部成績調査
 - 六、全 改善獲得事項調査
 - 七、全 財政調査
- 以上は我等が本年度に於ける戦後批判の資料を得る爲めに行ひ、良好なる成績を得た。本報告書は本調査に其の資料を得たものが多い。
- 其の他必要に應じ調査部は活動し本會の運動を進むる上に必要な資料提供に努めた。

教育部報告

本年度に於ける教育部活動としては、研究会の開催及圖書の紹介取次、逕信勞働新聞の發行等であつて、これらに依つて組合活動の情勢報導、時事問題社會運動理論に對する組合員大衆の正しき認識を深める可く活動した。

一、研究会

(イ)、時事問題研究会(九月十日、課題、英國政變批判、講師赤松會長、参加者二〇)、(ロ)、新年研究会(本研究会は都合に依り新年懇談會として開催した)一月十五日、課題社會主義と國民主義、講師赤松會長、参加者七〇、(ハ)社會問題研究会、五月二日より三日間、第一日課題、ファッシズムに就て、講師長阪慶一、第二日、課題、國家社會主義に就て、講師石川準十郎、第三日、課題、新國民運動の基調、講師赤松會長、参加者二五〇。

本部主催は右の三回で其の何れも良好なる効果を得たと確信する。

尙友誼團體との共同主催二回、参加三回である。

各支部に於いても活潑なる教育運動が行はれて、研究会總回数二二四回、落合支部の二二回は最高である。講師は主として本部より派遣したのであるが主なる講師氏名は、赤松會長、石川準十郎、長坂慶一、別府殿介、今里勝雄、山雅一、齊藤健一、山崎廣の諸氏及び本會役員で、課題は時事問題、特に滿蒙問題、國際聯盟問題、國家財政問題等で國家社會主義の徹底を目的としたものが主で、其の他は組合闘争批判、並に組織宣傳に關する研究会であつた。尙組合員の親睦融和、日常闘争方針等の協議を兼ねた茶話會は各支部を通じて一六〇回、辯論會は五七回である。

二、出版

逕信勞働新聞の本會との關係は準機關紙として發行されてゐたが、本年四月總同盟脱退と同時に正式に本會機關紙とし、組合活動の情勢報導、時事社會問題に對する正しき批判並に研究の發表をなし、教育、宣傳の効果を擧げた本年度中發行回数一〇回である。

支部に於ける支部機關紙としては、雜誌型發行八支部、ピラ型二十五支部、不定八支部で之等の發行總回数一九八回である、之等は主として、支部活動の情勢を目的としたものであつた。關係出版物並に指導精神の同一又は近似出版物としては日本國家社會新聞(月一回)國家社會主義(月刊)社會主義と國民主義(赤松會長著)マルクス社會主義より國家社會主義(石川準十郎著)新國民運動の基調(赤松會長著)國家社會主義と統制經濟(林榮未夫著)國家社會主義原理(林榮未夫著)等であるが、之等の取次紹介をなし、政治、經濟、方面の教育資料とした。支部に於て圖書の設備ある支部数は十七支部で所謂小圖書館を經營して好成績を擧げて居る。